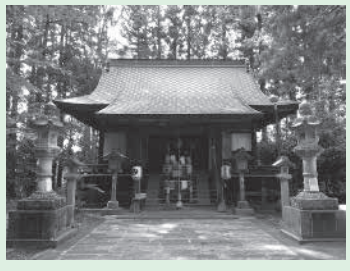


那須の歴史再発見!

那須町の地域文化遺産

vol.15



黒田原神社

正3年(1914)には、弥次郎血方神社、追田原湯泉神社、松沼湯泉神社を新たに合祀し、同年に新しい社殿が完成すると黒田原地区を代表する神社となりました。なお参道は山田農場主・伯爵山田英夫による寄付と伝えられています。

毎年7月には八雲神社例大祭が行われ、厄除け・無病息災が祈願され、神輿の練り歩きなどが行われます。また、秋の例大祭時には、泣き相撲が行われるなど地域住民との接点も多い神社です。

神社境内には、通称「逆さ狛犬」とよばれる狛犬があります。これは、大正13年に那須村消防組第三部役員らにより奉納されたもので、石工・菊池平二による彫刻です。また彼が大正3年に制作した「安産狛犬」も含めて、狛犬好きの方々にとっては大変人気の狛犬となっております。これを目当てに黒田原を訪れる人も

今回は黒田原地区に鎮座する黒田原神社を紹介します。黒田原地区は、江戸時代はあまり人が住んでいない寒村でしたが、明治24年(1881)に黒田原駅が開業し黒田原温泉の創設などにより戸数・人口が増加すると、神社の設置を求める住民の声が次第に強くなりました。

明治44年、黒田原温泉神社、黒田愛宕神社、法師畑温泉神社、法師畑愛宕神社、小羽入温泉神社、松の倉湯泉神社、旗鉾湯泉神社、針生温泉神社を合祀し、黒田原神社と称するようになりました。また大

もいます。菊池平二の狛犬は他にも矢板市の塩竈神社で見ることが出来ます。

また本殿付近にある石灯籠一基は、現在の栃木市出身の教育者・医師で田中正造を教えた国分義胤(1832~1902)が奉納したものと伝わります。国分は明治28年(1885)に黒田原に移住し医院を開いたとされ、住宅の庭に設置した石灯籠を神社へ奉納しました。石灯籠には自筆の銘文が記され、「東野處士國府五郎平義胤」と国分の名が確認できます。

鉄道の開通により開け、多くの人々が住むようになった黒田原。その足跡が今も遺されています。



逆さ狛犬

▼問合せ 那須歴史探訪館
☎74・7007

那須歴史探訪館
■申込み・問合せ
那須歴史探訪館 ☎74-7007

トピック展「小泉斐の作品たち」好評開催中!

黒羽藩の御用絵師で、谷文晁らにも影響を与えたアユの絵で知られる小泉斐(1770~1854)の作品を紹介します。近年那須町内で発見された彼の作品を中心に展示します。

▼会期 9月13日(日)まで
▼入館料 大人200円

常設展 「那須町の歴史」が開催中

旧石器時代からアジア・太平洋戦争までの那須町の歴史を紹介しています。江戸時代の交代寄合旗本芦野氏や黒羽藩、那須温泉の資料を展示します。

▼会期 9月13日(日)まで
▼入館料 大人200円

夏休み子ども向け講座 「那須町ではどんな戦争があったの?」参加者募集中!

那須町ではどんな戦争があったか、どんな戦争体験をした人がいたかを、講座と戦争中の資料を実際に触って学びます。

▼日時 7月15日(水) 午後6時30分~9時
▼定員 15人 (小学4年~高校生)
▼場所 文化センター
▼参加費 無料(要予約先着順)

夏休み子ども向け講座 「まちなかで見る江戸時代のひらがなを讀んでみよう」参加者募集中!

まちなかで見かける古文書(変体仮名)をきっかけに江戸時代のひらがな読解にチャレンジしてみませんか?

▼日時 8月9日(日) 午後2時~3時
▼定員 20人 (小学4学年~大学生※親子での参加可)
▼場所 文化センター
▼参加費 無料(要予約先着順)
※詳しくは町ホームページをご覧ください。